

アレルギー性疾患治療剤

エピナスチン塩酸塩DS小児用1%「サワイ」

EPINASTINE HYDROCHLORIDE

エピナスチン塩酸塩ドライシロップ

アレルギー性鼻炎：通常、小児には1日1回0.025～0.05g/kg(エピナスチン塩酸塩として0.25～0.5mg/kg)を用時懸濁して経口投与する。

蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒：通常、小児には1日1回0.05g/kg(エピナスチン塩酸塩として0.5mg/kg)を用時懸濁して経口投与する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。ただし、1日投与量はドライシロップとして2g(エピナスチン塩酸塩として20mg)を超えないこと。(下線部は全適応症共通)

年齢別の標準投与量は以下の通りである。

年齢	標準体重	1日投与量 (アレルギー性鼻炎)	1日投与量 (蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒)
3歳以上 7歳未満	14kg以上 24kg未満	0.5～1g (エピナスチン塩酸塩として5～10mg)	1g (エピナスチン塩酸塩として10mg)
7歳以上	24kg以上	1～2g (エピナスチン塩酸塩として10～20mg)	2g (エピナスチン塩酸塩として20mg)

[体重換算による投与量]

年齢*	体重* (kg)	アレルギー性鼻炎		蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒	
		エピナスチン塩酸塩としての1日投与量			
		0.25mg/kg/日		0.5mg/kg/日	
		DSとして1日投与量(g)		DSとして1日投与量(g)	
3歳	14	0.35	0.70		
	16	0.40	0.80		
4歳	18	0.45	0.90		
	20	0.50	1.00		
5歳	22	0.55	1.10		
	24	0.60	1.20		
6歳	26	0.65	1.30		
	28	0.70	1.40		
7歳	30	0.75	1.50		
	32	0.80	1.60		
8歳	34	0.85	1.70		
	36	0.90	1.80		
9歳	38	0.95	1.90		
	40	1.00	2.00		

\*2010/2011年「国民衛生の動向」

沢井製薬株式会社

●効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。